

# つり環境ビジョン事業を推進

## マダイ稚魚の中間育成状況を視察

(一社) 日本釣用品工業会と(公財) 日本釣振興会では、既報のとおり「つり環境ビジョン」の事業を今春より推進して

放流に関して、(公財) 神奈川県栽培漁業協会と契約、マダイ放流の準備を進めている。その受精卵は今春、三崎の城ヶ島

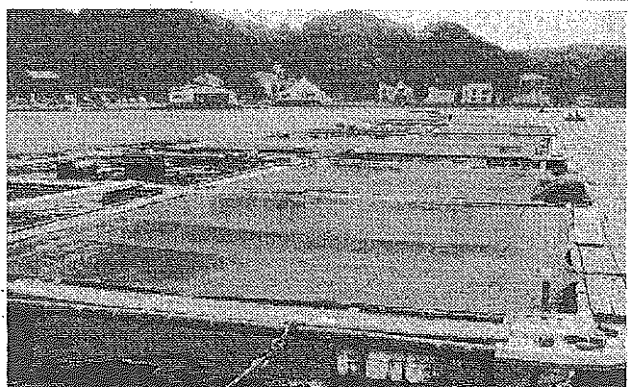
槽で飼育、去る6月6日に小網代湾内に設置している中間育成の生簀に移送。順調に育っている。そこで日釣りつり環境

生簀で育成中のマダイ稚魚をカウントする作業に合わせ、その状況を視察した。その作業は生簀の網を狭めて稚魚を集め、バケツに移し、その数を職員が目視で確認した。

おり、優先3事業の一つ放流事業のうち、調査型搬送、ふ化し、施設の水

にある同栽培漁業協会に

マダイは生簀に移送した時点で約20センチだったが、今回の時点では約60センチに成長している。今後8月頃、神奈川県の沿岸各所で放流する予定。



小網代湾の生簀で中間育成の作業①、普段は防鳥ネットで保護②